

保護者様

愛知教育大学附属名古屋小学校
校長 加藤 兼幸

令和6年度 学校評価のまとめ

学校評価のアンケートへのご協力ありがとうございました。集計ができましたので、結果とそこから読み取れる特徴的なこと（特に太字の数字）についてお知らせいたします。

保護者アンケート集計結果		A：はい→D：いいえ				(%)
	質 問 項 目	A	B	C	D	
1	お子様は、進んで学習に取り組んでいるように思いますか。	54.0	33.5	9.8	2.7	
2	お子様は、学習することで考える力がついてきたように思いますか。	50.8	39.4	8.7	1.1	
3	お子様は、学習した内容について理解をしているように思いますか。	49.2	40.3	9.3	1.1	
4	お子様は、本年度の重点事項の一つである「望ましい生活習慣の定着と生活マナーの向上」（服装を整える・時間を守る）では、意識が高まっていると思いますか。	45.8	41.2	11.9	1.1	
5	お子様は、進んで挨拶や返事をする事ができていると思いますか。	46.9	39.2	11.6	2.3	
6	お子様は、交通ルールやマナーを守って通学ができているように思いますか。	54.4	40.1	4.6	0.9	
7	お子様は、困ったときに先生や友達と相談できる関係であると思いますか。	42.6	40.8	14.6	2.1	
8	お子様は、友達の良いところを見つけ、助け合っていると思いますか。	57.6	35.5	5.9	0.9	
9	お子様は、自分の持ち物や学校の物を大切に扱ったりすることができていると思いますか。	41.9	44.4	12.8	0.9	
10	お子様は、自分と関わる人に対して丁寧な言葉で話したり、感謝の気持ちをもって接したりすることができていると思いますか。	43.3	44.0	11.6	1.1	
11	学校は、懇談会など、保護者と話をする機会を適切に設けていると思いますか。	68.6	27.6	2.5	1.4	
12	学校は、学級PTA、各種通信、ホームページなどを通して、教育活動を分かりやすく保護者に伝えていると思いますか。	67.7	27.8	3.6	0.9	

※構成比率は、少数第2位を四捨五入しているため、100%にならない場合があります。

多くの項目で、A B合わせて85%前後の高い評価をいただきました。

学習面に関わる項目1～3では、概ね高い評価をいただいております。どの項目もA B合わせて90%程の数値を示しており、基本的な知識を活用しながら物事に対して粘り強く考えられていることが分かります。しかし、三つの項目ともにC D評価を合わせると10%の児童が、学習に対して十分に組み合っていないことが課題としてあげられます。今後も、基礎的な知識を活用したり、進んで自分の考えをもって学習に取り組んだりすることができるよう努めていきたいと思ひます。

生活に関わる項目4～6では、C D評価が高くなっています。項目4の時間を守ることについては、休み時間の子どもたちの様子を見て意識が高まってきているように思ひます。項目5の挨拶については、児童の手本となるべく教職員が率先して声掛けをすることを継続しながら、児童の定着度を高めていきたいと思ひます。また、規則正しい生活や身だしなみを意識できるように、普段の生活からはじめ、毎月実施しているさわやか附小っ子カードを効果的に活用することで、家庭との連携を図り、望ましい生活習慣の定着を目指していききたいと思ひます。

心の面に関わる項目7、8では、項目7においてC Dの評価が15%を超える値となっており、昨年度と同じく高い値となっています。今後も、心のアンケートや懇談会等での情報を基に、個別に話をしたり、ご家庭と連絡を取り合ったりしていくことを大切にしていきたいと思ひます。また、教員と児童の信頼関係を高めたり、児童同士がよりよい関係づくりをしたりできるように努めていききたいと思ひます。

重点目標として指導してきた項目9、10は、他の項目と比べ低い評価となっています。今年度から片付け方が分かるように写真を掲示したり、改めて掃除道具の使い方や掃除の仕方を指導したりしてきました。また、他者との関わり方について学級の中で話し合ってきました。今後も指導を継続していくことで、児童が持ち物を大切に使ったり、感謝の気持ちや敬う気持ちをもって接することができるようにしていきたいと思ひます。

学校の取組に関わる項目11、12では、A B合わせて概ね90%以上の高い評価をいただきました。今後も分かりやすい情報発信を心掛けていきます。

児童アンケート集計結果

A：はい→D：いいえ

(%)

	質 問 項 目	A	B	C	D
1	学習のめあてに向けて進んで取り組むことができましたか。	58.0	34.0	7.6	0.4
2	調べて分かったことや考えたことをまとめることができましたか。	45.4	41.4	11.4	1.7
3	学習した内容がきちんと分かりましたか。	63.5	27.6	7.8	1.1
4	服装を整える・チャイムの合図を守るといった、学校生活で大切なことがきちんとできましたか。	58.8	33.1	6.8	1.3
5	学校に来たら自分から進んで挨拶や返事をすることができましたか。	70.9	21.9	5.5	1.7
6	交通ルールやマナーを守って登下校できましたか。	63.5	28.0	6.3	2.3
7	困った時には先生や友達に相談できましたか。 (困ったことがなかった子は、相談できそうですか)	53.4	28.1	12.6	5.9
8	友達のよいところを見つけ、助け合って行動することができましたか。	58.2	31.8	8.8	1.3
9	自分の持ち物や学校の物（そうじ道具、図書室の本 など）を大切に使うことができましたか。	75.1	20.0	4.2	0.8
10	友達や先生、調理員などの学校にいる人に丁寧な言葉で話したり、感謝の気持ちをもって接したりすることができましたか。	65.6	25.5	6.8	2.1

※構成比率は、少数第2位を四捨五入しているため、100%にならない場合があります。

7項目でAB合わせて90%以上という結果で、子どもたちが高く自己評価していることが分かります。

学習に関わる項目1～3では、昨年度に引き続き、高い自己評価となっています。本校の研究テーマは「わくわく つながる 授業デザイン（3年次）」で、子どもたちは意欲的に学習に取り組むことができています。一方で、項目2のC評価が高くなっています。学びを通して分かったことや考えたことをまとめる際には、児童の発達段階を考慮した上で、よりよいまとめができるように、教師が適切な支援をしていきたいと思います。

生活面に関わる4～6では、概ねAB評価を付ける児童が多いことが分かります。気持ちよく大きな声で挨拶したり、時間を守って外で元気に遊んだりする児童が大勢います。今年度の重点目標である項目9、10においても、高い評価を付けています。引き続き、基本的な生活習慣の定着に向けて指導してきます。一方、項目4では、A評価が他の項目に比べ低く、子どもたち自身も改善の余地があると感じている項目だと考えます。休み時間の様子を見ていると子どもたちは時間を意識した行動をすることが概ねできていると考えますので、服装について、服装規定の趣旨に基づいた着用ができるように改善していきたいと思います。

心の面に関する項目7、8では、昨年度と同様、AB合わせて80%以上の評価を付けています。しかし、どちらの項目でも1割を超える子どもが、CD評価を付けています。教師と児童、児童同士のより良い関係づくりができるように、今後も温かい雰囲気作りに努めていきたいと思います。

項目6「交通ルールやマナーを守って登下校できましたか」については、AB合わせて90%以上の評価になっています。ただし、過去3年間の数値と比較してみると、A評価の割合が下がり、CD評価の割合が上がっています。この傾向は、児童だけでなく、保護者による自己評価も同様になっています。これは、ルールやマナーを守って登下校しようとする自覚の表れと捉えています。

実際に、今年度も月に一回程度、地域の方々から苦情をいただいております。また、安全委員の方を中心に、PTA委員の方々や全保護者の方にも年一回の下校指導をしていただいております。下校時の児童の様子を見ていただいております。

最寄り駅や学校近隣の安全指導は、教職員で行うことはできますが、「電車やバスの中」での指導は保護者の協力がないとなかなかできません。今後も、公共の場での過ごし方について児童の意識を高めながらよりよい行動ができるように、指導をしていく必要があると考えています。ご家庭でも、マナーを守って登下校するとは、どのようにすることなのかについて、定期的に話題にいただけると幸いです。地域の方にも愛される学校になるよう、ご協力いただきますようお願いいたします。